

## 第14回 葛飾区子ども・子育て会議

### 議事録

日時：平成27年10月30日（金）午後1時30分～午後3時44分

場所：健康プラザかつしか 3階大ホール

#### 【出席委員22人】

村井会長、加藤副会長、阿部（恵）委員、浅川委員、浅野委員、阿部（久）委員、井上委員、上田委員、浦岡委員、黒沢委員、篠原委員、鈴木委員、高野委員、田牧委員、福島委員、星委員、町山委員、山崎委員、谷本委員、廣瀬委員、三浦委員、森田委員

#### 【欠席委員3人】

小林委員、佐野委員、山口委員

#### 【事務局】

区長、子育て支援部長、育成課長、子育て支援課長、保育管理課長、子ども家庭支援課長他担当職員

### 次第

#### 議事

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 委員紹介（資料1）
- 4 事務局紹介
- 5 葛飾区子ども・子育て会議会長及び副会長の選出
- 6 議題
  - (1) 葛飾区子ども・子育て会議の役割について（資料2）
  - (2) 葛飾区子ども・子育て会議の運営について（資料3）
  - (3) 平成27年度葛飾区の現況について（資料4）
  - (4) 平成28年度開設予定施設について（資料5）
  - (5) 葛飾区子育て支援に関するアンケート結果について（資料6）
  - (6) 葛飾区子育て支援行動計画（後期計画）進捗状況（最終）について（資料7）
  - (7) その他（資料8＋リーフレット）
    - ・すこやか子育て応援隊について
    - ・5歳児健康診査について

#### 【配付資料】

- 資料1 平成27年度葛飾区子ども・子育て会議委員一覧
- 資料2-1 葛飾区子ども・子育て会議条例
- 資料2-2 子ども・子育て支援法（抜粋）
- 資料3 葛飾区子ども・子育て会議運営及び公開に関する要綱
- 資料4 葛飾区の現況
- 資料5-1 施設状況（予定）
- 資料5-2 子ども・子育て支援事業計画における保育利用に係る量の見込みと確保方策
- 資料6 平成27年度子育て支援に関するアンケート集計表
- 資料7 子育て支援行動計画事業実施状況
- 資料8 5歳児健康診査事業の実施状況について  
すこやか子育て応援隊リーフレット

#### 【議事内容】

##### 事務局

- 委員改選後、最初の会議になるので、会長が選出されるまでは事務局で進行を務めていく。
- 本日は傍聴人がいるため、注意事項を伝達。
- 区のHPやフェイスブック掲載等のため、職員が記録撮影する旨伝達。
- 開催に先立ち区長より挨拶があります。

#### 区長

- 子育てについては、葛飾区の計画や事業の中で重要な課題として取り上げている。できる限り多くの方に、条件問わず保育ができるようにしていきたい。
- 一昨年からの子どもの数が、下がってきたものが増えてきている。葛飾区にとっては大変嬉しいこと。一方で、その保育需要は大幅に増えてきている。3年程前までは、待機児童も逡減し2桁までできたが、ここ2年程はぐっと増えて3桁になっている。
- 保育需要に応えるべく保育園を整備する等の対策を進め、基本計画と比べ約3倍増員してきた。しかし結果として、待機児童が出てしまい大変申し訳ない。解消するように、これからも全力で頑張っていきたい。そのためには、皆様からも色々なアイデアをいただきたい。子育ては待機児童だけが問題ではなく、例えば保育1つをとっても、病児保育や病後児保育、保育時間の延長等あるので、こうした要望にも応えていきたい。あわせて、周産期の時点から切れ目なくサービスを提供できるようにしていく。保育だけではなく、子育て全般について皆様からも幅広いご意見をいただければ幸い。子どもたちが育ちやすいように、またお父さんお母さんにとっても子育てしやすい状況をつくるために、これからも皆様と力を合わせて頑張っていきたい。

(公務の都合により退席)

#### 事務局

- これより会議を進めていく(配布資料確認)。
- <出席委員の自己紹介>

#### 事務局

- 出欠状況について報告。定足数に達しているため、会議が成立している旨伝達。
- <事務局の自己紹介>

#### 事務局

- 今後、事案により、子育て支援事業と関係の深い部局の職員も参加。
  - 会長の選任は、学識経験者の内から区長が指名することになっている。改選前にも本会議の会長を務めた村井委員にお願いしたい。
- <各委員から承諾(拍手)あり>

#### 事務局

- それでは村井委員に会長にご就任いただきたい。以降の会議の進行は、村井会長にお願いしたい。

#### 会長

- 副会長は互選ですが、いかがいたしましょうか?

#### 委員

- 前回に引き続いて加藤委員にお願いしたい。
- <各委員から承諾(拍手)あり>

#### 会長

- では、加藤委員を副会長といたします。

### 議題(1) 葛飾区子ども・子育て会議の役割について

### 議題(2) 葛飾区子ども・子育て会議の運営について

---

#### 会長

- 議題(1)及び(2)について、事務局より説明をお願いする。

#### 事務局

- 資料2-1「葛飾区子ども・子育て会議条例」について説明。
- 資料2-2「子ども・子育て支援法(抜粋)」について説明。
- 資料3「葛飾区子ども・子育て会議運営及び公開に関する要綱」について説明。

## 会長

- 特に意見等なければ次の議題に移りたい。

## 議題（３）平成２７年度葛飾区の現況について

---

### 会長

- 議題３について、事務局より説明をお願いします。

### 事務局

- 資料４について説明。
- 葛飾区における４月１日時点での乳幼児人口は、平成２５年度まで減少傾向だったが、平成２６年度、２７年度と、ここ２年間、連続して増加。
- 認可保育所は、公立・私立合わせて、平成２３年度から８施設増加し８４施設、認定こども園も３施設を新たに設置。その他、認証保育所３施設、小規模保育事業所４施設、家庭福祉員の増加により、平成２７年度は総合計で９，８６８人。平成２３年度比で、１，１６８人の定員増。
- 待機児童数は、平成２５年度まで順調に減少してきたが、平成２６年度、２７年度と増加。平成２３年度の乳幼児人口に占める保育定員の割合が３９．６％であったのに対し、平成２７年度は４４．９％と増加したが受け入れきれない状況。
- 学童保育クラブは、昨年度まで原則３年生までの受け入れであったが、児童福祉法の改正により、６年生までを受け入れ。在籍児童数では昨年度より５２３人増の４，３１９人を受け入れたが、待機児童が１３８人発生。特に申し込みが増加した「小松南小学校らる」に、運営法人の協力により、「小松南小らる第二学童保育クラブ」を整備。公立学童保育クラブでは、当面児童館部分を活用。梅田小学校は、小学校敷地内に学童保育クラブを来年４月開設予定で、整備を進めている。その他、北野小学校内に２つ目の学童保育クラブと、木根川小学校の学童保育クラブの建替えを進めている。来年度には堀切小学校内に学童保育クラブを整備する予定。

### 会長

- 事務局の説明に対してご意見ををお願いします。

### 委員

- 学童保育クラブの待機児童数が非常に多い。４～６年生が今年度より新たに学童保育クラブに入会したことにより、１～３年生の待機児童数が多いのか？

### 事務局

- 学童保育クラブの４～６年生の在籍数について、４年生が３１６名、５年生が１８名、６年生が１７名。４年生が増えた部分大きいということになる。

### 委員

- ４年生が増えた分だけ、１～３年生が待機児童になってしまったのか？

### 事務局

- 低学年の入会できなかつた子よりも４年生の子の方が学童の必要性について高かった。来年度の選考は、必要性だけではなく、低学年の子は優先的に入会できるよう見直しをしていく。

### 委員

- 平成２７年度の待機児童が２５２人で、２５年度と比較すると約６．６倍になっている。この２５２人という数値は、あらかじめ予測された数値なのか？それとも予測できないような要因があって、この数値が出たのか？あるいは対応がまづかつたため、こういう結果になったのか？

### 事務局

- 葛飾区で待機児童が増えてしまった背景について、年少人口が微減すると予想していたが、増加傾向に転じた。さらに、２７年８月の有効求人倍率が１．２３倍で、２３年７カ月ぶりの高水準。ここ１年あたりで一気に増えており、東京都に限定すれば１．８２倍。
- ２５２名の待機児童の内、１９５名が１歳児。２歳児と比べ、ここまで差が広がるという予測が難しかった。今後は、認可保育所の設置を進めるのと同時に、小規模保育等、様々な乳幼児の対策をしていく必要が急遽出てきている。このような背景の中で、正確に予測できた数値なのかどうかについては、わからなかつたというのが正直なところ。
- 元々の計画では４００名強の定員増だったが、１，３６９名前倒しで実施した。事業計画中に１，

245名の定員確保する他、さらに雇用情勢に応じた対応もしていき、これからも保育需要に関して、真摯に向かい合って解決していく。

#### 委員

- 待機児は1歳児に集中しており、何か対策を講じる必要があったのではないかと考えている。ここに立っていることが忸怩たる思い。もう一度、新しい対策等を考えていただきたい。

#### 委員

- 学童の受け入れが6年生までが増えたことにより影響が出ていると感じている。先ほど低学年が入会できるよう見直しすると回答があったが、見直しすることにより解消されるのか？

#### 事務局

- 学童の受け入れを6年生までにしたことについて、今後も色々な影響がでてくるのではないかと考えている。校内に学童を建てられる学校は建ててしまっている。区内の小学校の約半数にあたる。学校の直近となると土地もなく、空き物件も使いづらい所が多い。
- 何とかご要望にお応えするべく、児童館部分の面積を少し割愛して、学童として活用している。乳幼児の方々には若干制約が出てしまっているが、サービス全体の質は変わらずにしていきたい。良いアイデアがありましたらぜひご意見いただきたい。

#### 委員

- 学童について、商店街の空き店舗を活用する等、民間や地域の方々と協力できないか。
- 保育等の状況で定員が9,868人に対して在籍が9,457人なので、数字上411名余裕がある。待機児童は252人発生しているが、どういった理由か。
- 子育て送迎ステーションを実施すれば待機児童を解消できるのではないか。

#### 事務局

- 商店街に直接声をかけた事はないが、宅建葛飾区支部等の方々と物件探し等のご協力をいただいている。
- 定員数と在籍児数の差について、地域性も多少あるとは思うが、0～2歳の空きが少ない状況。つまり、定員数と在籍児数の差は3～5歳にある。
- 子育て送迎ステーションについて、保護者の方々が安心し、お子さんにとっても影響の無いようなかたちとなると、とても今簡単に手を付けられるような状況ではない。できるだけ小規模保育を整備し、現状の課題を研究していく必要があると考えている。

#### 委員

- わくチャレのスタッフの増員や空き教室を活用し設備を整える等をして、学童の待機児に対応させることはできないか？

#### 事務局

- 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども事業の一体型運営数目標値を10カ所とした。できるだけ今いる子どもたちにサービスが行き届くように、前向きに努力していく。

#### 委員

- 0歳児の先生を1歳児にもってくれば1歳児の待機児童解消にもつながり、お母さんとのニーズにも合うと思う。

#### 事務局

- 保育士の数の他に保育面積を0歳と1歳は1人につき3.3㎡確保しなければならない。ぎりぎりだと、色々と環境を変えなければならず、事実上難しいのではないかと考えている。
- 子育て中の親御さんと一緒になってどのように良い環境を提供していくか、良い知恵を借りながら進めていかざるを得ないのが今の状況ではないかと考えている。

#### 委員

- 0～2歳の待機児童について、実際にはどの地域が多かったのか？逆にどの地域が思ったより少なかったのか？
- マンション大規模開発時に、小規模保育等の子どもを預けることができるスペースを確保する等の対策を事前にとっているか？
- 認定こども園について、これまでの3～5歳から受け入れ年齢を下げた結果、何か現場で課題があった等、実態について教えてほしい。

#### 事務局

- 葛飾区の西部と南部に保育のニーズが強く出現した。252人の待機児童の地域性を見たときに、西部と南部に待機児童が多く発生している。ニーズと実際の待機児童はある程度関連している。
- 待機児童を予測し、特に小規模保育等をできるだけ確保できるように整備していく。
- 認定こども園について、大きな課題というものは今のところはないが、保育所とは多少違うところがあるかもしれないので、入園案内でもよく見学してもらうよう案内している。

#### 会長

- 待機児童の問題について、委員の方が恥ずかしいとおっしゃいましたが、私も恥ずかしい。毎月のように会議を開いて数値を予測して、みんなで合意したものが、はずれてしまったことに関して、私たちにも責任があるのだろうと思う。なぜ予測がはずれたかについて、葛飾区固有の問題と、もう少し地域性を加味して考えれば良かったのかなと思うところがある。区だけではなく、我々委員としてもどうしてこうなったのかよく吟味して考えていかなければならない。またこの会議の中で、より良い方向にもっていけるようにできたら良いなと思っている。

### 議題（４）平成28年度開設予定施設について

#### 会長

- 議題4について、事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

- 資料5-1について説明。
- 今年度整備する保育施設は、認可保育所6施設、認証保育所から認可保育所へ移行する施設2施設、小規模保育事業所1施設、認定こども園へ移行する施設1施設。
- キャンディパーク保育園2号は、既に認可保育所に移行している。本来なら、事前にこの会議でご意見をお伺いする必要があるが、待機児童の多い地域であり認可保育所の需要が高い等、できる限り速やかに認可保育所へ移行することが望ましいと判断し、事後報告となった。
- 資料5-2について説明。
- 1は区全域の総括表。保育の必要量は合計10,594人で、平成29年度まで整備を行い、保育定員を合計11,113人確保していく。
- 平成28年4月1日の見込みとして、2号で5,990人、3号で4,366人、合計して10,356人。計画値に対する保育定員の過不足は、2号であと19人、3号であと738人。今後は特に1歳児を中心に受け入れを確保していく必要がある。
- 2から5は葛飾区を4つの地域に分けた整備状況。計画値との差は順に、東部地域は、合計して127人多い。西部地域は、2号定員であと33人、3号定員であと263人、合計してあと296人不足している。南部地域は、2号認定であと75人、3号認定であと401人、合計してあと476人不足している。北部地域は、3号認定で、あと112人不足している。

#### 会長

- 事務局の説明に対してご意見をお願いします。

#### 委員

- 1歳児の定員を合計すると85人増えるが、待機児童が252人いるので、その残りは28年度に解決するのか？それとも、この数値は待機児童を考慮に入れていない数値なのか？

#### 事務局

- 最大限努力して今、整備を進めている数がこれになる。社会情勢にあわせて動いていくという前提に立ちながらも、1,245人整備していくのは皆様と検討した事業計画にあるとおりなので、尚一層の努力をしていく。

#### 委員

- 葛飾区の合計特殊出生率は、1.4をきっている。我々が今考えなければいけないのは、当面待機児童をどう解消したら良いのか、そして、将来像の2つをまとめ考えないと待機児童の問題は解消しないのではないかと私は考えているが、いかがでしょうか？

#### 事務局

- 区民の方が、今困っていることをどのように解決していくのが最大の課題だと思っている。その後の施設の有効活用については、これを無駄にしない取組みを今は難しいかもしれないが、き

ちんとやっていく。

**委員**

- 一時保育の利用年齢とか、預けている理由とか何か区で把握しているか？
- 各保育園の一時保育の部分をもう少し拡大するとか等の対応は可能か？

**事務局**

- 保育所に預けられない方が定期的に利用している実態もあるということを知っている。定期利用保育や短時間保育の仕組み等があるので、引き続き色々な選択肢の中から選択できるように取り組んでいきたい。

**委員**

- 南部地域に定期利用保育を増やしていくという考え方もあると思う。
- ファミリー・サポートについて、潜在的に保育ができる方をサポート会員になっていただくとか、保育ママについて、新規に保育ママを目指している方や、今まで保育をやっていた方を保育ママさんになっていただけるようにする声掛けをしたりして、南部地域にファミリー・サポーターと保育ママを増やすようなことをしていってほしいと思う。

**委員**

- 認証保育所から認可保育所への移行にあたって、既に利用されている方がそのまま利用できることになっているのか？その際の説明等はどのようにされているか？

**事務局**

- 認可への移行にあたり、まずは在園児の方をそのまま在園継続をしていくことを前提に、余った枠のところで新たな募集をしている。

## **議題（５）葛飾区子育て支援に関するアンケート結果について**

---

**会長**

- 議題５について、事務局より説明をお願いします。

**事務局**

- 資料６について説明。
- 全体傾向として、回答の傾向自体はあまり変わっていない。
- 今年度新たに４つの項目を追加。
- ２８ページ以降は自由意見欄。同一の項目でも評価されている面、評価されていない面があるので、子ども・子育て支援事業計画を着実に進め、区民の期待に応えていきたい。

**会長**

- 事務局の説明に対してご意見ををお願いします。

**委員**

- アンケート結果の感想があまり良くないことについて、どう捉えているか？

**事務局**

- 去年は新制度に向けて不安があった、今年になると葛飾区の待機児童が２倍増えてしまった。これは東京都全体の中でも増数として１番になる。ご不満な点が多々あると思うが、それに対する私たちの回答を示していくことで、逆に満足していただけるように、区民の声に対して真摯に向かい合って進めていくべき戒めも含めメールであるというふうを受け止めている。頂いた意見を改善できるように、全力で努力しなければならないと捉えている。

**会長**

- 私も同じ感想を少し持っている。２７年度だけではわからないので単純に比較できないが、もっと精査しなければならないと思っている。もう少しじっくり読み込んで、意見交換をして、どう受け止め、どういう対応をしていかなければならないか検討できればと思っている。宿題でよろしいでしょうか？＜反対意見等なし＞

## 議題（６）葛飾区子育て支援行動計画（後期計画）進捗状況（最終）について

---

### 会長

- 議題６について、事務局より説明をお願いします。

### 事務局

- 資料７について説明。
- 「保育計画事業目標達成率」は、「病後児保育（訪問型）」と「一時保育（訪問型）」について、利用実績が目標値に対して6.1%。当初の目標が高く設定されていたこと等が原因。その他の事業については、おおむね目標を達成している状況。
- 「新規事業実施状況」は、「認定こども園の設置」、「(仮称)子育て送迎ステーションの設置」、「(仮称)子育て支援ガイドブックの作成」及び「おむつ替えや授乳スペースの設置」を説明。
- 「各事業達成状況一覧」は、「子育て支援行動計画」に基づく各事業の達成状況。

### 会長

- 事務局の説明に対してご意見をお願いします。

### 委員

- ホームスタート事業についての内容が記載されていないが、どのような理由か？

### 事務局

- 資料７は27年3月31日まで実施していた行動計画の最終報告。27年4月1日から新しく事業計画を実施しており、こちらの方で、ホームスタート事業を新規事業として行っている。

## 議題（７）その他について

---

### 会長

- 議題７について、事務局より説明をお願いします。

### 事務局

- 資料８と「すこやか子育て応援隊」のチラシを配布。後ほど、ご一読していただきたい。
- 事務局からの回答で補足させていただきたいが、認証保育所から認可保育所への移行にあたり、在園児の方には配慮しているが、きちんと保育の必要性がある方を在園継続している。

### 会長

- ご質問等あればお願いします。

### 委員

- 妊婦健診の中に歯科健診を28年度より入れていただくが、1回しか入っていない。1回ではその後の経過が分からないので、最低でも3回、歯科を入れていただきたいと思う。
- 5歳児健康診査について、資料８には医療機関と記載されているが、医療機関というと医科しか想定されないので、医科・歯科と入れていただけるとありがたい。

### 会長

- 要望があったので検討をお願いします。他に特にないようであれば、事務局より、連絡事項などをお願いします。

### 事務局

- 次回の会議は、28年2月下旬から3月上旬頃の開催を予定。詳細は決まり次第、改めて委員の方にお知らせする。このあと、委員より所属団体にて開催予定のイベントのお知らせがある。

### 委員

- 自分の所属団体にて開催予定のイベントについてお知らせ。

### 会長

- それでは、本日の会議はこれで閉会といたします。ありがとうございました。